

八峰町職員の給与などの状況をお知らせします

町職員の給与は、地方公務員法・地方自治法に基づき、議会の議決による条例で定められています。町では条例に基づき給与制度について厳正な運用に努めます。町民の皆さんにご理解いただくため、職員の給与等について主なものをお知らせします。

1. 職員給与費 (平成20年4月1日現在)

給料	5億5,067万4千円
職員手当	3億1,971万4千円
給与費総額	8億7,038万8千円
1人あたり給与費	685万3千円

※給与費は特別職を除く一般職の給与で、職員手当には退職金は含まれません。

2. 平均給与月額等 (平成20年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均諸手当月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	325,017円	36,702円	361,719円	44歳 1月
技能労務職	283,283円	27,813円	311,096円	46歳 8月
医師職	1,020,000円	391,500円	1,411,500円	55歳 10月

3. 特別職の給与(報酬)月額 (平成20年度)

区分	給料及報酬
町長	750,000円
副町長	558,000円
教育長	510,000円
議長	276,000円
副議長	242,000円
議員	233,000円

4. 初任給の状況 (平成20年4月1日現在)

区分	初任給
一般行政職	大学卒 172,200円 高校卒 140,100円
技能労務職	高校卒 133,500円

5. 職員数の状況

区分	職員数	
	平成19年	平成20年
一般行政職	130人	127人
技能労務職	12人	12人
医師職	1人	1人
合計	143人	140人

6. 一般行政職の級別職員数の状況 (平成20年4月1日現在)

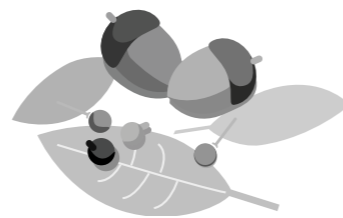
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職務内容	主事・主事補	主任	係長・主査・主任	補佐・係長	課長	主幹・課長	
職員数	7人	12人	48人	37人	11人	12人	127人
構成比	5.5%	9.4%	37.8%	29.2%	8.7%	9.4%	100.0%
参考 1年前の構成比	7.7%	11.5%	35.4%	26.1%	15.4%	3.9%	100.0%

(注) 1 八峰町の給与条例に基づく行政職給料表の級区分による職員数です。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。

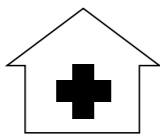
7. 人件費(平成19年度地方財政状況調査(決算統計)より)

歳出総額(A)	63億9,235万2千円
人件費(B)	11億7,281万1千円
人件比率(B/A)	18.3%
平成18年度人件比率	21.8%

※人件費は特別職と一般職に支給される報酬、給与、職員手当、共済費などの合計額。
※人件費率とは普通会計の歳出総額に占める人件費の比率。



皆川薬局



どちらの処方せんでもお受けします。

薬剤師 皆川 鉄治 ・ 皆川 真実

八峰町峰浜沢目駅前 TEL. 76-2052 FAX. 76-2199

営業時間 7:00~20:00 / 休業日 日曜日・祝祭日



年賀状印刷承ります

電話での注文で年賀ハガキお立替えいたします。
ご自宅に配達いたします。ご自宅までお伺いします。お気軽にどうぞ。

八峰町障害福祉法指定店 各眼科処方箋取扱店
補聴器・メガネ・時計・宝石・はんこ・ゴム印

吉田時計メガネ店

八峰町八森字中浜15-2 電話: 77-2034

橋本五郎氏が講演

～どうなる日本の政治～「今の政治は心が欠けている」と訴える



11月4日、フアガスで橋本五郎氏の講演会が開催されました。橋本氏は三種町出身で読売新聞特別編集委員を務めるほか日本テレビ「ズームインSUPER」のコメンテーターとして出演し、分かりやすい解説で全国的に有名な方です。講演会は白神八峰商工会と同町観光協会の主催で開催され、会場には橋本氏の講演を聞こうと約250人が来場しました。

「どうなる日本の政治」を演題にした講演では、「解散総選挙よりも景気対策が重要。世論もそれを望んでいる」と麻生首相の判断を評価。その一方、解散を条件に審議に応じてきた民主党の

態度が一転することを踏まえて「国会ではなく国民を考えて、与野党ともに正攻法で行くべきだ」と、国会の政局本位に注文を出しました。

「今日の金融危機に対しても、300年に一度の大変な時期。経済には国境がなく互いに影響し合う。日本がリードして解決するんだ」と世界に発信するべき」と日本がリーダーシップを発揮する大切さを力説しました。

また、福沢諭吉の「文明論之概略」から「議論の本位を定めなさい、事の利害を議論してはいけない。」を引用し、「国民を幸せにするために政治がある。どの道を通れば幸せにたどり着くかを議論するのが国会ではないか」と、国会議論の本位を指摘。「政府はその道筋をはっきりと国民に伝えるべき。」と述べました。

このほか、地方格差にも触れて「ここ数年で地方が崩れた。政府は痛みに耐えながら故郷に住んでいる方々への心遣いがありましたか。」と呼びかけ、「今の政治には心が欠けている。痛みに対して敏感であることが大切。」と語りました。

最後に「私は今でも東京へ出稼ぎに行っていると思っている。生まれ育った故郷で死ぬる国にしたい。」とふるさと秋田への思いを語りました。

峰浜中学校生徒会が空きびん・アルミ缶回収の収益金を社会福祉協議会へ寄附

10月21日、峰浜中学校生徒会(熊沢和人会長)が行った空きびん・アルミ缶の回収による収益金を八峰町社会福祉協議会へ寄附しました。

この空きびん・アルミ缶の回収は同校生徒会がボランティア活動の一環として夏休み期間中に地域を巡回して実施したもので、毎年行っていることから地域の行事として定着しているものです。

寄附金を受け取った八峰町社会福祉協議会の菊地会長は「地域の福祉のために大切に活用します。」と感謝の言葉を贈りました。



長年の奉仕活動に

八森婦人会岩館分会へ
JR東日本社長から感謝状



10月21日、八森婦人会岩館分会(金谷由紀子会長)がJR東日本の清野智社長からJR岩館駅の美化活動に対して感謝状が送られました。

同会では地域の玄関口である岩館駅を美しくしようと、ホームや駐車場に季節の花を植えるボランティアを平成2年から開始。18年間という長年の功績がたたえられて、感謝状が贈られることになりました。

金谷会長は「駅を利用する方々が癒されればと思って花の手入れをやってきました。これからも地域のために活動していきたい。」と語ってくれました。